



# 周防大島中だより

HP アドレス <http://www.sea.icn-tv.ne.jp/~sojhp/>



周防大島町立周防大島中学校  
2024年10月9日  
■ 第 6 号 ■

学校教育目標：ふるさとを愛し、幸せな未来を拓く生徒の育成～自ら考え、判断し、行動する生徒～

## 特集「第4回周防大島中学校体育

\*当日の写真と生徒の「振り返りシート」の記述も交えながら、体育祭の様子をお知らせします。

「第4回周防大島中学校体育祭」が9月8日（日）に開催されました。生徒は、この体育祭に向け1学期から準備を進めてきました。また、応援団や装飾係が夏休み中も登校し準備を整えてきました。

そのような中、生徒たちに試練がやってきました。台風10号の襲来です。この影響で、8月末の登校日が2日間なくなり、体育祭準備のための時間が大幅になりました。

さらには、真夏のような日差しが2学期に入ってからも容赦なく照り付けました。多くの試練に負けることなく、まさに体育祭スローガン「勇猛果敢～挑もう。さらなる高みへ。」を体現し体育祭当日に臨む生徒の姿がありました。

競技においては、個人競技や各学年競技が行われ、生徒は楽しみながらも各隊の勝利に向けて懸命に競技しました。特に、3年生の団体競技では、二人三脚から徐々に人数が増え最後は十人ムカデに…。こんなにもスピード感あふれるムカデ競走を見たのは教員人生で初めてでした。3年生の底力を見せつけられました。



また「かまずに聞き取りやすい放送を心掛けました【放送係】」や「速やかに競技を進められるよう道具の出し入れを急ぐことを頑張った【用具係】」、「係長として他学年へのアドバイスや、点があっているか素早く計算しました【記録係】」など、それぞれの役割と責任を自覚し係の運営に取り組む生徒の姿が見られました。



装飾係によって製作された各隊の看板

体育祭の終盤には、目玉である「隊演技（応援合戦）」が行われ、各隊共に工夫を凝らした熱い演出を披露し会場を魅了しました。



また、今年度の体育祭に新しい種目が盛り込まれました。それが、3地区に分かれての玉入れ競技『のんだ大島玉入レツゴ』です。「これまでお世話になっている地域の方と何か共に汗を流す競技はできないものか」と生徒会執行部を中心に企画された種目でした。地域との交流ができ、生徒も保護者・地域の方もとても良い表情を浮かべていたのが印象的でした。

最終種目の隊別リレーでは、白熱したレース展開で会場を沸かせました。



結果は、競技の部はわずか4点差での鳳凰隊の勝利、応援賞の部は白虎隊が勝利という形で体育祭の幕を閉じました。それぞれに悔しさは残るものの、生徒は清々しい表情を見せていました。共に力を尽くし、悔いのないパフォーマンスを行ったからこそその姿で、観ている方々にも多くの“感動”を与えることができたのではないかと思います。



最後に、“中学校生活最後の”体育祭を終えた3年生の言葉をいくつか紹介します。「皆が一生涯懸命になればなるほど団結力が高まっていった3年間の中で一番良い体育祭だった。」「どんなことにおいても、本気でやれば最高の時間になるということを知った。これからの行事にも生かしたい。」



次は文化祭です。体育祭での学びを生かし、周防中生らしい素晴らしい文化祭をつくり上げていくことを期待したいと思います。

## 第4回周防大島中学校文化祭(お知らせ)

○期日：令和6年10月26日（土） 8:40～15:30（予定）

○主な内容：合唱コンクール、学年発表・展示、教科発表・展示、有志発表等

